

2023年8月20日
8月第三主日礼拝式



75 ただ一つの願い

ただひとつ わたしの願い求めは
主の家に住まうこと いのちのかぎり

うるわしき主を 仰(あお)ぎ見て
主の宮(みや)に住み 主を想う
うるわしき主を 仰(あお)ぎ見て
主の宮(みや)に住み 主を想う

118 威光・尊厳・栄誉

世界中 どこでも 新しい 歌をささげよ
主に歌え ほめたたえよ
み救いの知らせを告げよ
まことに主はおおいなる方
賛美されるべき方
威光と尊厳と栄誉 光栄と力
ただ主だけを礼拝せよ
天を造り 支えている主

新聖歌4番 「小羊をば」

- 1 小羊をば ほめたたうる たえなるものの音(ね)
天(あめ)に聞こゆ いざみ民よ 恵みの主に
栄えの冠(かむり)を ささげまつれ
- 2 み使いらも うちふすまで わが主の御傷(みきず)は
てりかがやく いざみ民よ 救いの主に
栄えの冠(かむり)を ささげまつれ
- 3 戦いやみ 矢さけび絶え 祈りと歌との声はひびく
いざみ民よ 平和の主に 栄えの冠を ささげまつれ
- 4 空のきわみ地の果てまで みいつの光は照り渡りぬ
父と共にしらす君に 栄えの冠をささげまつれ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌202番 「一度 死にしわれをも」

- 1 一度 死にしわれをも イェスは生かしたまえり
咎(とが)と罪の代わりに 新たなるいのちあり
* 時の間(ま)をも惜しみて きみはわれと語ろう
きみはわれを放(はな)たず われはまた 主にぞつく
- 2 流れ落つる涙も 肩にになう荷物も
君は知りて憐れみ 愛の御手のべ給う 【*】
- 3 うめき叫ぶ夜(よ)はなし 罪とえにし断(た)ちし身
み座に近く安らい 天つ歌 つねに聞く 【*】
- 4 病めるわれに手を置き 弱きところ強くし
まがに幸に励ます 主イェスこそ神にませ 【*】

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン